

令和7年度 第1回 学校運営協議会議事録

令和7年6月12日(木)

14:10~15:30

山梨県立かえで支援学校 視聴覚室

次第

- 1 開会のことば(司会)
- 2 校長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 学校運営協議会要綱について(司会)
- 5 会長、副会長選出(互選)
- 6 会長、副会長あいさつ
- 7 議事(議長:会長)
 - (1) 令和7年度学校教育目標、学校運営について(校長)
 - (2) 学校概要、教育課程について(教務主任)
 - (3) 学校評価について(教頭)
 - (4) 生徒指導について(生徒指導主事)
 - (5) 進路指導について(進路指導主事)
 - (6) 交流および共同学習について(交流教育部主任)
 - (7) その他
- 8 意見交換
- 9 連絡事項
今後の予定
第2回学校運営協議会 令和8年2月5日(木)
- 10 閉会のことば(司会)
※学校運営協議会前に校内、授業参観 13:20~13:55(希望委員)

会長、副会長選出

- 会長を古屋委員、副会長を岡本委員を選出

議事

(1) 令和7年度学校教育目標、学校運営方針について

○意見、質問等

- ・児童生徒への対応、言葉使いの項目に関し、自分の子は愛称で呼ばれていた時があったが現在は愛称など一切使用しないのか。〇〇さんで統一している学校もある。
- ・呼び方については、ケースバイケースで対応が良いのではないか。
- ・関連して、性的な多様性に配慮する児童生徒はいるか。
- ・学校運営方針は児童生徒のニーズとあっているか。
- ・児童生徒の指導に際し、「怒る」のではなく、「叱る」となっているが子供にとっては同じとらえなのではないか。それぞれの場面での対応が重要なのではないか。
- ・児童生徒に伝わりやすくかみくだいて伝えるなど個別に対応していくことが良い。

○回答

- ・児童生徒の呼称や性的多様性に配慮し支援にあたる。
- ・児童生徒がどのようにとらえているかを丁寧に見ていくようにし、児童生徒に伝わる方法を模索していく。学校運営方針は教師側の視点で示しているものなので、児童生徒目線も考えていく。

(2) 学校概要、教育課程について

○意見、質問等

- ・入学前の対応、地域の保育園・幼稚園に通っている子どもは、友達と一緒に小学校へ入学することも多いが、療育施設に通っている子どもは支援学校への入学をすすめられているような状況はあるか。

○回答

- ・療育施設に通園していた子が入学してくるケースはあるが、通園していたが小学校へ入学した子供の数については把握していない。教育相談に来た児童全員が入学していないため、小学校を選択した家庭もあると思われる。

(3) 学校評価について

○意見、質問等

特になし

(4) 生徒指導について

○意見、質問等

- ・交通安全運動は春・夏の交通安全期間中にしかやらないのか。交通安全期間は警察や地域の方等もいるので、見守る人がいない他の時期にも実施するのが良いのではないか。
- ・放課後等デイサービス利用の児童生徒の交通の課題はあるか。
- ・近所に住んでいるので登下校時の生徒をよく見かけるが挨拶ができています。指導ができていると感じる。

○回答

- ・交通安全運動については、年度当初に教員がスクールバスに添乗したり、自主通学の生徒についても見守りをするなど交通安全期間以外にも実施している。
- ・放課後等デイサービス利用の児童生徒の送迎時の決まり等については年度初めに説明会を実施している。

(5) 進路指導について

○意見、質問等

特になし

(6) 交流および共同学習について

○意見、質問等

- ・地域の人たちにも児童生徒の実態を知ってもらい、できることをやっていくのが良い。
- ・かえで支援学校の校歌「フレンズ」を希望者に渡しているとのことだが、CDと譜面をわたしているのか。

○回答

- ・校歌「フレンズ」については、ニーズに応じて、CDと譜面の両方を渡している。

(7) その他

○意見、質問等

- ・いじめ対策について 学校運営協議会も入っているがどのように参加することを想定しているのか。

○回答

- ・学校だけで対応できない課題の際は協力していただく。

意見交換

○意見、質問等

- ・教室数が不足していることについて、県の方の対策はあるのか。
- ・環境が整っていなければ良い教育は難しい。もう少し現状を見ながら対応してもらうことが望ましいと思う。
- ・運営協議会前に学校見学をして、8割がたの先生方は、教室など狭いなりにいろいろ工夫して対応していることを実感した。残り2割の先生が工夫できればさらに良い。授業研究等しながら良いところを共有できると良い。ただ、限界はあると思う。

○回答

- ・知的障害特別支援学校の大規模化が課題になっている。わかば支援学校については増築の方向で進んでいるようだ。本校については、様々な工夫をする中で現状を進めていく。しかし、令和7年度の児童生徒数280人は予測外の増加であった。ピークが早まったのか、これからも増加するかは注意深く推移をみていき、県教育委員会にも伝えていく。